

「地域ICT研究成果発表会」を開催

～ 北陸地域のICT研究開発の活性化に向けて ～



特別講演 田中技術政策課長



約80名が発表会に参加



パネルと研究機器の展示

北陸総合通信局（局長：齊藤 一雅）と北陸情報通信協議会（会長：永原 功 北陸経済連合会会長）は、各代表研究機関等との共催により、情報通信月間行事の一環として、6月6日（木）、KKRホテル金沢において、「地域ICT研究成果発表会」を開催し、企業、大学、自治体等80名が参加しました。

はじめに、主催者を代表して、苑田 洋史情報通信部長が、「戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）の研究成果を通して、地域の課題を解決し、地域の方々の暮らしを便利に、豊かに、そして、地場産業や経済を元気にする、そういうことにつながっていくような研究成果を応援して行きたい。」と挨拶しました。

次に、平成23年度及び平成24年度に北陸地域で採択されたSCOPEプログラムの「地域ICT振興型研究開発」の3課題について、各研究代表者等が実演（デモ）を交えて、これまでの研究成果を発表しました。

続いて、総務省情報通信国際戦略局の田中 宏技術政策課長が「イノベーション創出のための情報通信技術政策について Beyond Valley」と題して、イノベーション創出に向けた現状の課題や課題解決に向けた政府全体の取組方策などについて特別講演を行いました。

会場では、パネル・研究機器の展示コーナーが設けられ、休憩時間等を利用し、参加者から各研究代表者等に多くの質問が寄せられました。

■ 研究成果を発表した課題 ■

- ① 「富山LRTにおけるスマートICTを活用したバリュー創生の研究開発」（平成23年度採択課題）
研究代表者：株式会社インテック先端技術研究所 グループマネージャー 堀 雅和 氏
- ② 「僻地医療の高度化に向けたユビキタス救急救命システムの研究開発」（平成23年度採択課題）
研究代表者：福井大学医学部医学科 教授 井隼 彰夫 氏
（発表者：福井大学医学部 笠松 眞吾 氏）
- ③ 「地域活性化のための共生型モデルシミュレーションの研究開発（平成24年度採択課題）
- 富山県・石川県におけるスマートフォン情報システムの構築 -」
研究代表者：株式会社MINAMI 代表取締役 南 和彦 氏



発表者 堀 雅和 氏
(株)インテック先端技術研究所



発表者 笠松 眞吾 氏
(福井大学医学部)



発表者 南 和彦 氏
(株)MINAMI

問い合わせ先：情報通信部電気通信事業課 076-233-4421